

2015年5月15日

SB エナジー株式会社

宮崎県えびの市でのメガソーラー発電所の建設について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスビー エナジー）」）は、宮崎県えびの市に大規模太陽光（メガソーラー）発電所「ソフトバンク宮崎えびのソーラーパーク」の建設を決定しました。

今回、SB エナジーは霧島エンタープライズ株式会社（本社：宮崎県えびの市、代表取締役：宮原 一良）が所有する約 1 万 7,000 m²（約 1.7ha）の土地において、出力規模が約 1,400kW（約 1.4MW）、年間予想発電量が一般家庭約 448 世帯分の年間電力消費量に相当する約 161 万 6,000kWh／年の発電を行うメガソーラー発電所を建設し、2015 年 9 月の運転開始を目指します。

SB エナジーは今後も自然エネルギーの普及・拡大を目指し、メガソーラーをはじめとする自然エネルギー発電所の建設と運営を推進します。

■ 「ソフトバンク宮崎えびのソーラーパーク」の概要

所在地	宮崎県えびの市大字大河平字琵琶池 4470
敷地面積	約 1 万 7,000 m ² （約 1.7ha）
出力規模（太陽電池容量）	約 1,400kW（約 1.4MW）
年間予想発電量	約 161 万 6,000kWh／年 一般家庭約 448 世帯分の年間電力消費量に相当 ※1 世帯当たり 3,600kWh／年で算出
運転開始	2015 年 9 月予定